

山梨

景観まちづくり

プログラム

この冊子は5つのステップで構成されています。

『まちをもっと良くしたい！』

『すばらしい風景を次世代に残したい！』

など、まちづくりの未来を考える方のための

初心者向けプログラムです。



目次

- 景観まちづくりプログラム 5つのステップ 1
- 続けた先に・・・ 10
- もっと知識を深めたい方へ(推奨図書) 11
- 付 録 13
- すぐに景観まちづくりを始めたい方へ 14



こんな風景を残したい！

景観まちづくりプログラム5つのステップ

STEP

1

情報を集めよう

まずは情報収集から。まちづくりについて調べよう

STEP

2

まちを歩こう

まちを飛びだし、「良いところ」を発掘しよう

STEP

3

みらいを話そう

あなたのまちが将来「こうなったらいいな～」を話し合おう

STEP

4

やってみよう

ひとりで、みんなと、地域や行政と協働で、
できることを考えよう

STEP

5

楽しく続けよう

無理をせず、楽しみながら、気がるにやってみよう！



景観まちづくりを
始めると…



- コミュニティが活発になる
- 住む地域が美しくなる
暮らしやすくなる
- 住んでる地域が好きになる！

情報を集めよう

まずは、まちづくりの情報収集から

情報を集めるにはインターネット（「まちづくり」や「景観」をキーワードに検索）の活用が有効です。他にも県内外への旅行（フットパスツアーやまち歩きへの参加）なども、楽しみながら情報を集めるのにつけてです。

また講演会なども有効です。さらに年配者に話を聴いたり、実際の活動（市町村への問合せや地域のまちづくり団体への訪問）に触れるのも効果的です。

インターネットの活用

【取組の概要】
身延山門内の商店街の活性化を伴った活性化
◆市民組織「身延山門内活性化委員会」の設立、「景観隊」の設立
◆身延山門内の歩行者
・コンクリートの舗装
・ポストカード、ストラップの製作や頒布
・身延山ウォークの実施等
◆身延山門内地区の歴史等に合った景観形成の実施
・第一山門内製粉の歴史
・商店街の復元（パターナリ）
・バスやタンクンの乗りつけ
・景観形成で学ぶ体験型観光の推進
・商店街の活用（商店街見学）の実施や情報発信（実施中）

【詳細】
◆組織体制
・身延山門内活性化委員会
・景観隊
◆専任員（町長補佐、町職員、職工等）
◆山梨県（景観建設部、景観課、美しいまちづくり推進室）

【取組内容】
景観隊会・検討会
景観形成の推進
景観隊による「バス」や「タンクン」の乗りつけ

まち歩きへの参加



上：まち歩き（川越市）お店の人に話を聞くと裏話も。下：フットパスツアー（甲州市）

山梨県のウェブサイトから、まちづくり事例などがダウンロードできます。

セミナーへの参加



山梨県景観セミナー、山梨県でも定期的に景観セミナーを開催しています。

まちを歩こう

準備するもの:カメラ、ペン、地図、飲み物など

次は「まち歩き」です。情報収集が一通り終わったら、まちへ飛び出しましょう！歩く目的は一つだけ、まちの良いところを探します。歩いたからこそ分かる「地域の資源」が眠っているかもしれません。

知り合いや友達も誘って歩きましょう。その中に、「よそ者」がいるともっと効果があります。彼らは「外の目」を持っています。あなたが普通だと思っているところが、彼らにとっては、貴重な資源かもしれません。

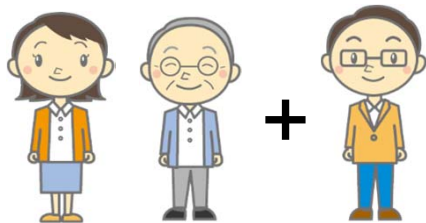
歩いて発掘した良いところ（水辺や街並み、食べ物、子供の遊び場）はどんどんカメラで撮影しましょう。また地図にも書き込みましょう。



おいしかった食事や何気ない小道などを撮影しましょう。



順路や良いところも地図に書き込む。気になるところには、名前やニックネームをつかって歩くと楽しいかも。



あなた

よそ者

※よそ者とは、地域外の人、移住者や、地元をしばらく離れていた人、学生や県庁の人など、あなたが見慣れた風景を違う視点から見ている人を指します。

まち歩きヒント

組み合わせを考える

さらに良いところの組み合わせを想像しながら歩くのも楽しいですよ。例えば「この場所で景色を見ながら、食事できると最高だな〜」とか。見方を変えると、まち歩きはもっと楽しくなります。また磨けば光る原石がまち中に転がっているかもしれません。意外なモノが資源に繋がりますよ。



食べ物

+



農村風景

「棚田を眺められるレストランがあるといいな！」

まち歩きヒント

目利き自慢をする

まち歩きが終わったら、あなたが発掘した「良いところ」を自慢し合いましょう！場所はカフェや居酒屋など、あなたの感想が一番出てきやすい場所で。感想は、ご飯食べながら、お茶しながら、とにかく楽しみながら、ベスト！また磨けばもっとよくなる方法も話し合いましょう。



電線が邪魔で富士山がよく見えなかったなあ



おいしいお店を見つけたよ

はじめて棚田を見たけど良かった！

未来を話そう

準備するもの：地図・模造紙・付せん・写真
「こうなったらいいな～」の気持ち

「まち歩き」をしたみんなで、地図を前にまちの未来について話しましょう。発掘された「まちの良いところは資源」として、「磨けば光るものは課題」として、活かし方や磨き方などアイデアを出し合いましょう。ここでは、とにかくいろんなアイデアを出し合うことが重要です。

「おいしい店を見つけた！」とか、「座るところがほしかった！」だとか、自由奔放で夢物語でも、なんでもOKです。脳をフル回転させて！

夢物語でOK！

ルール

- ①他人の発言を批判しない
- ②自由奔放な発言を歓迎する
- ③質より量を求める
- ④他人のアイデアに
どンドン便乗する

※話し合いの際の注意点

NGワード

「実現しない」
「くだらない」
「コストがかかる」

…などはNGワードです！



まちの特徴をまとめよう

書く

1つ1つのアイデアは付せんに記入し、「みんなが見える」ようにします。

座るところがほしい！



座るところがほしい

付せんに記入



貼る

アイデアを書いた付せんに紙を貼っていきます。



模造紙に付せんに貼る



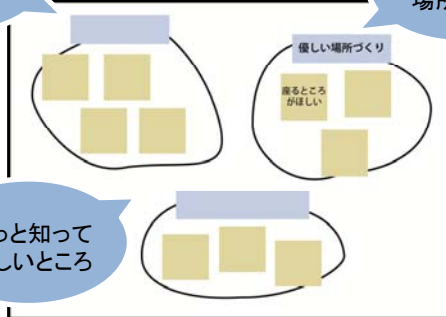
分類する

貼った付せんにテーマごとに分類し、貼り変えていきます。

残したいところ

優しい場所づくり

もっと知って欲しいところ



付せんに分類ごとにくくり、題名をつける

分類することで、まちの良いところや具体的な特徴がわかるようになります。それらを元に「まちの未来像」をつくりましょう。

まちの未来像をつくろう

これまで話合ってきたことや、「まちの特徴」などをもとに、あなたのまちの未来を考えましょう。地図に情報を書き込み、完成した未来像をみんなで共有しましょう。

その1



「まち歩き」で発掘したおいしい店や良いところを書込む。

その2



写真を貼ったり、磨けばもっと良くなる方法を話し合う。

その3



まちの特徴やアイデアを書き込み、まちの未来像をみんなでつくる。

STEP

4

やってみよう

ワクワクが高まったら、さっそくやってみましょう

「まちの未来像」が完成したら、いまずぐできることからやってみよう。あなたが一人でできること、みんなでできること、地域でできること、市町村との協働など。各地の事例なども参考になりますよ。



店先にハスを置き、
地域で統一感と
季節感を演出する



白色ガードレールを景観
配慮色へ塗り替える

みんなで
やると
楽しい！



お客さんが
増えたよ
by 店主



風景が
引き立って
見える！



店舗を修景する



派手なブルーシートを自然色
シートへ変えてみる

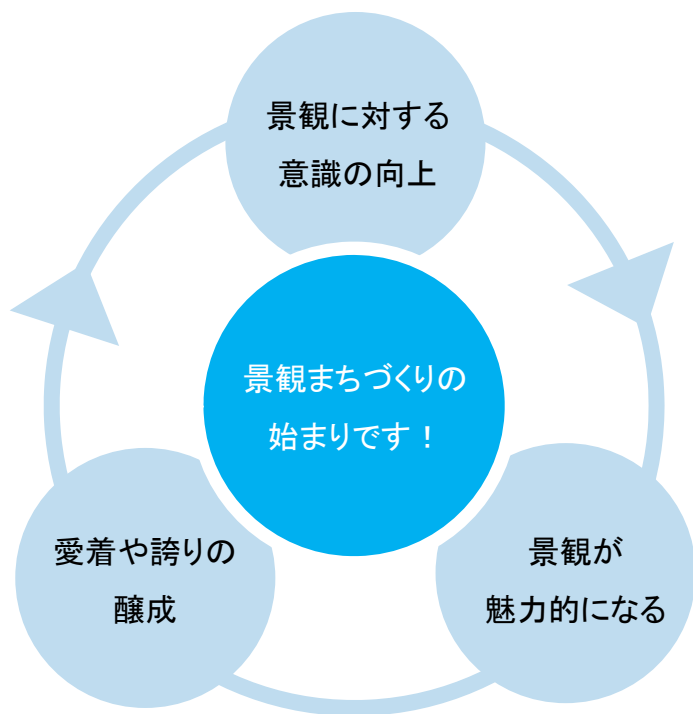
STEP

5

楽しく続けよう

無理をせず、楽しく頑張りましょう

まずは楽しみながら始めましょう。そして無理せず気楽に続けましょう。行き詰まったら、みんなでトコトン話合ったり、先進事例を参考に。



どんなに小さな活動でも、その積み重ねが

「景観まちづくり」になります。

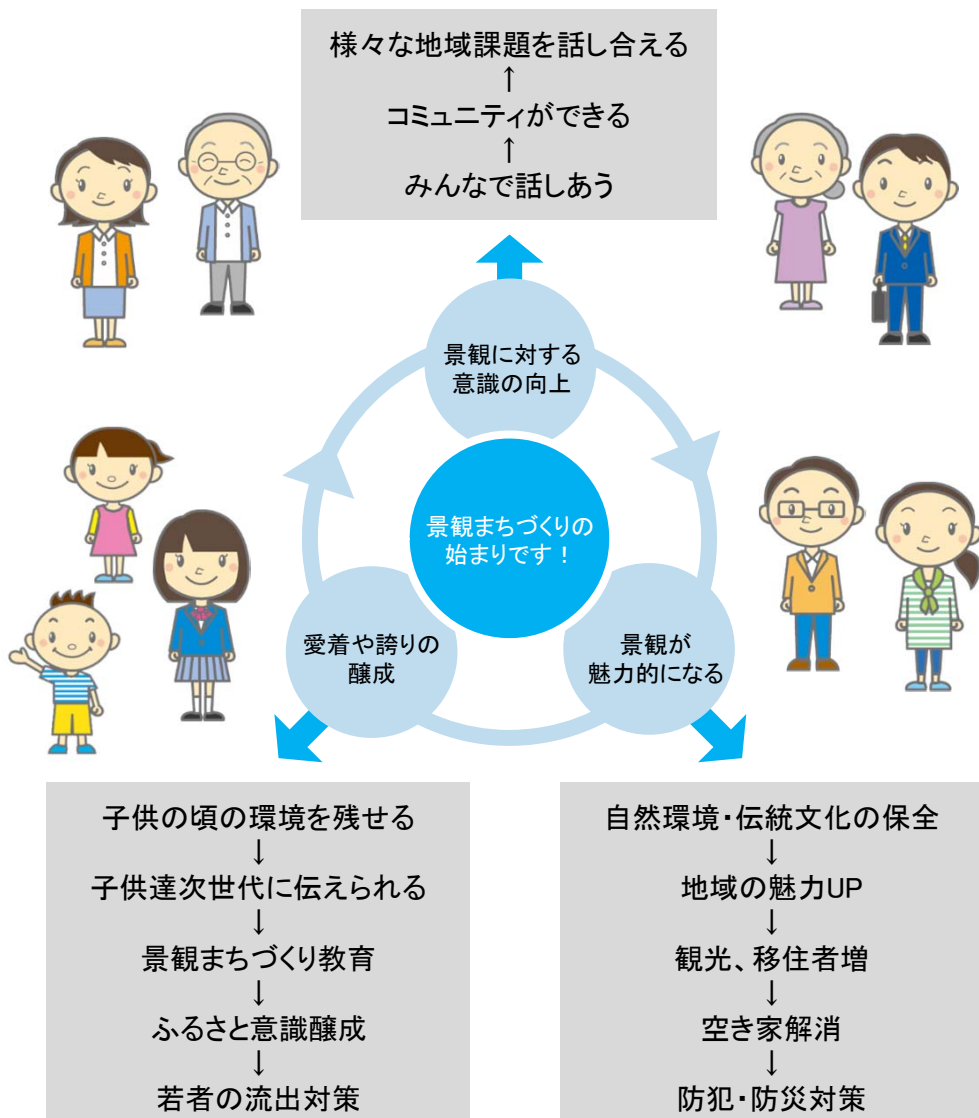
あなたが持つ「まちを良くしたい」と思う“その気持ち”

がやがて「景観まちづくりのサイクル」となり、

まちのあらゆる活性化に繋がっていきます。

続けた先に…

「景観まちづくりのサイクル」が回転し始めると、
様々な地域課題についても解決できる糸口が見つかるはずです。



もっと知識を深めたい方へ

(推薦図書)

- 参加のデザイン道具箱
 (財)世田谷区都市整備公社まちづくりセンター
- 参加のデザイン道具箱
 PART2 プロセスデザイン:事例とワークブック
 (財)世田谷区都市整備公社まちづくりセンター
- 参加のデザイン道具箱
 PART4 子どもの参加
 (財)世田谷区都市整備公社まちづくりセンター
- 住民・行政・NPO協働で進める最新地域再生マニュアル
 山浦晴男／朝日新聞出版
- 市民のためのまちづくりガイド
 佐谷和江・須永和久・日置雅晴・山口邦雄／(株)学芸出版社
- ワークショップ 住民主体のまちづくりへの方法論
 木下勇／(株)学芸出版社
- まち学習の本 まちへとびだせ!!
 親子Cityアドベンチャー '96/'97の記録
 (財)世田谷区都市整備公社まちづくりセンター
- 景観用語辞典 増補改訂版
 篠原 修編／彰国社
- 堀繁 講話集 景観からの道づくり
 基礎から学ぶ道路景観の理論と実践／財団法人道路環境研究所

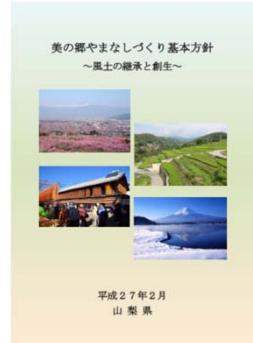
(山梨県の資料)

○ 美の郷やまなしづくり基本方針

～風土の継承と創生～

美しく活力のある県土を後世に引き継ぐために、「景観」「環境」「文化」「風土産業」の活動を合わせた総合的なまちづくりを県土全域で実践するための方向性を示したものです。

「美の郷やまなしづくり基本方針:事例シート」は本編の中に掲載されています。



○ 公共眺望ポイントガイドライン

山梨県には美しい景観がたくさんあります。しかし、美しい景観は見るができなければ意味がありません。見るものを操作することは難しいですが、見る場所を操作することは比較的容易です。見る場所を良くし、美しい眺望を生かしていくことは重要です。美しい県土を見渡せる「見る場所＝眺望ポイント」を整備、管理するための考え方を示したものです。



○ 山梨県屋外広告物ガイドライン

景観を考える上で重要な要素のひとつに、屋外広告物があります。山梨県は、山梨県屋外広告物条例にもとづき、一定のルールを定めています。ルールの遵守に加え、景観に配慮した「より質の高い広告物」とするための手法やデザインの考え方などを示したものです。



※これらの資料は山梨県のウェブページよりダウンロードが可能です。

○ 情報発信について

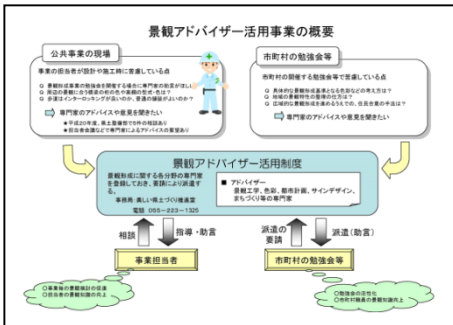
STEP1～STEP5のプログラムの過程はできる限り情報発信しましょう。そうすることでより多くの人にあなたの活動を知ってもらう機会となります。また今後の活動への協力者ももっと増えるかもしれません。

情報発信の仕方

- ・インターネットでの発信（SNSやHPなど）
- ・活動ペーパーの作成、配布
- ・地域情報誌やメディアへの投げ込みなど

○ 地元市町村との協働 有識者を招いた景観勉強会など（山梨県景観アドバイザー制度の利用）

県では、市町村が行う公共事業に対しての景観の観点からの助言や景観に関する勉強会等に対しての講師について、景観アドバイザーを派遣しております。



景観勉強会の様子

山梨県 景観づくり推進室

電話：055(223)1325

ファックス：055(223)1857

メール：kendosui@pref.yamanashi.lg.jp

ホームページ：

<https://www.pref.yamanashi.jp/kendosui/index.html>

※美の郷やまなしづくり基本方針・事例シートなどのダウンロードが可能です。



景観に関する様々な情報を公開中

山梨県 景観づくり推進室

検索